



㊦ しっかりかんがえ ㊦ もいやりのある ㊦ みんななかよし 潮見っ子

光る海 13号



令和5年7月7日

校長 惣田 正宏



ホームページ

「小暑」これからが夏本番です。熱中症に気をつけながらの2週間余り！

昨年は6月に（28日）に梅雨明けをしたのに、今年は今が梅雨本番、今週は九州各地で大雨による被害が出ました。幸いにも長崎県（佐世保市）には大きな被害が出ず、地域の方や保護者の見守りのおかげで、雨の日も元気に歩いて登下校ができていて安堵しているところです。週末まではぐずついた天気が続きますが、来週は回復しそうです。梅雨明けが待ち遠しいところです。

さて、今日は「小暑」です。小暑は、暑さがだんだんと強くなっていくという意味で、これからが夏本番です…。暑さが本格的になり、夏本番である暑中に入ります。夏休みまで2週間余り、子どもたちの体調や熱中症にも気を配りながら、しっかりと1学期のまとめをしていきます。



みんなで楽しんだ児童集会 7月4日

4日、児童集会を開き、運営委員会の進行で全校でふれ合うゲームをしました。「猛獣狩りへ行こうよ！」というゲーム、ご存知でしょうか？

最初は、運営委員さんのかけ声に合わせてみんなで踊ります。こんなかけ声です。～「もうじゅうがりへいこうよ♪」「もうじゅうなんてこわくない♪」「だーっててっぽうもってるもん♪」「やりだってもってるもん♪」「あ！」「あ！」「ら・い・お・ん」！

最後の動物の文字数でグループを作ります。「ライオン」だったら、近くの人と4人グループを作ります。単純なゲームですが、とても盛り上がりました。最後は「あ・じ・あ・た・て・が・み・や・ま・あ・ら・し」と12人のグループを作ることとなりました。

久しぶりの集会。子供たちの歓声や笑顔が嬉しいですね。こんな活動はどんどん復活してほしいですね。



税金は なぜ必要なの？ 7月3日

小学生から大学生までを対象として、「税の意義や役割を正しく知ってもらい、税に対する理解を広げていくこと」を目的として開催される特別授業です。毎年6年生が受けています。その「租税教室」が3日にありました。佐世保市法人会の方に来てもらい、「税金がなぜ必要なのか、税金は何に使われているのか」を動画や講師の先生の話によって分かりやすく学ぶことができました。



1学期最後のクラブ活動と

西部ガス料理教室 7月4日

同じく4日、1学期最後のクラブ活動を楽しみました。6年生は卒業アルバム用の記念撮影も行いました（揃ってないクラブは2学期に撮影します）。

子供たちが楽しみにしているクラブ活動、図工・家庭科・パソコン・科学・スポーツの5つのクラブで、気の合う仲間と仲良く活動していました。

家庭科クラブでは、昨年11月に続いて、西部ガスの4名の方が来校され、「潮見小学校料理教室」を開いていただきました。

「フライパンで本格ブラウニー！」。素敵なレシピも用意していただき、分かりやすく教えてもらいました。子供たちはお菓子作りが大好きですが、クラブの時間に先生だけでお菓子作りを指導するのは限界があります。西部ガスさんの好意で料理教室を開催してもらい、おかげで学校だけでは難しい本格的なお菓子作りを体験させてもらいました。作ったブラウニーをおしゃれに紙コップに詰めていました。自慢気に見せにくる子もいて、とても嬉しそうでした。家庭でも挑戦する児童もいるかもしれませんね。

企業の協力はなくてはならない体験活動、実現していただき本当にありがとうございました。



西部ガス料理教室開催！

初めてのフッ化物洗口 6月30日

6月から虫歯予防のために、週1回フッ化物洗口を実施しています。1年生も何回かの水による練習を経て、今日から実際にフッ素液を使って洗口をしました。紙コップやティッシュの準備、フッ素液を注いもらい、音楽に合わせてぶくぶくうがいをします。

幼稚園や保育所で経験済みの子も多く、味が変わったことの混乱はありませんでした。ちょうど見守り隊の方々も来ていたので、関わっていただきながら無事やり終えることができました。



読み聞かせと図書室の飾りつけ 6月30日

こちらも、運動会が終わり6月から始まったボランティア「For Kids」さんによる読み聞かせ、3・4年生から始まり、前は1・6年生、そして30日は、2・5年生への読み聞かせでした。

5年生は英語による絵本の読み聞かせでした。6月から図書室もボランティアの方々が飾りつけをしてくださっています。

その飾りも6月から7月バージョンにと変わりました。7月は「天の川のひこ星とおひめ」です。いろいろな人に支えていただいています。



ようこそ 北川先生(国際理解指導員) 7月3日

ALTのシェーン・ハドック先生とは別に、国際理解指導員として北川春華先生が3年～6年生の外国語活動や英語の授業支援として入られます。年間10.5時間、別の小学校と2校を回られます。

3日、初めて潮見小学校へ来られました。この日は、3年・5年・6年の3クラスに入り、自己紹介や簡単な英語でのやり取り、ゲームなどで仲良くなりました。北川先生1年間よろしくお願いします。



7月の掲示板 子供の作品でいっぱいです!

学校の掲示板も、7月の装いに変わってきました。夏本番。季節を感じさせる掲示がいっぱいです。玄関には七夕飾りと、「ぽかぽかの学校」は、たくさんのエピソードでカラフルに埋まってきています。3組の教室には大きな竹が出現し、その笹にはたくさんの児童が願い事を書き結び付けています。5・6年生の季節を感じさせる俳句や短歌の作品もありました。あと2週間、梅雨のジメジメを吹き飛ばし、夏の季節を感じながら学校生活を楽しんでほしいものです。



校長の独り言④

～子どものやる気と教師のやりがい～

阿佐ヶ谷アパートメントという番組をご存知でしょうか。NHKの番組で、阿佐ヶ谷姉妹が大家を努めるアパートを舞台に、年代・性別・国籍などが全くバラバラで個性あふれるメンバーが、令和日本の価値観を取材したVTRを見ながらトークを展開する番組です。期間限定番組であり、私も常に見ているわけではありませんが、7月1日放送のVTRを見て、表題のことについて考えさせられました。独り言として聞いてください。

細かな設定までは覚えていませんが、算数嫌いな視覚障害の小学生(女の子)と2021やる気を出させるNo1塾講師(ルナ先生)を出会わせ、1週間で算数に対する苦手意識をなくせるか(やる気を出させられるか)という企画でした。直接会って話をするのは2回(最初と1週間後)、その間はリモートでのやり取りです。

最初の出会い…。女の子の得意な、負けたことがないという「声だしあっち向いてホイ」で仲良くなります。また、女の子の「読み書き」は全て点字であり、点字を打つところ、指でなぞりながら点字教科書を読むところを見せてもらいます。ルナ先生は、素直にその素晴らしさに驚きます。(私自身も驚きました。そのスピード、正確さ、点字を習得するという事は一つの外国語を習得することと同じだと感じました。)

仲良くなった後、1週間後の提案がルナ先生(塾講師)からあります。女の子には、「1週間分の算数の宿題とその中から1週間後にテストをすること。」を伝えます。そして、「自分も1週間点字を学ぶので、1週間後にする点字のテストを作ってほしいこと。」を女の子にお願いします。「点字のテストを作ってほしい。」という提案に女の子の顔がぱっと輝きます!ルナ先生は1週間、忙しい中時間を作って、その約束に誠実に相對します。どんなに頑張っても1週間でできることはたかが知れています。意地悪い問題をつくろうと思ったらいくらでもできます。しかし、リモートのやり取りで、ルナ先生の頑張りが女の子に伝わっていたのです。1週間後、頑張った女の子の算数は、11問正解(12問中)でした。一方、ルナ先生の点字は、4問(12問中)正解に終わりました。でも女の子が出した最後の点字問題は(ルナ先生ありがとう)だったのです。ルナ先生は読んで感動します。きっと子供のやる気(教師のやりがい)は、こんな関わり、感動体験から生まれるのだと感じました。